

平成 17 年度第 3 回常務理事会（通信会議）議事録

日 時：平成 17 年 7 月 22 日（金）～8 月 5 日（金）

参加者：

理事長：武谷 雄二

理事：石塚 文平、稲葉 憲之、宇田川康博、岡井 崇、岡村 州博、落合 和徳、嘉村 敏治、
田中 俊誠、星 和彦、丸尾 猛、吉川 裕之、吉村 泰典、和氣 徳夫

監事：荒木 勤、佐藤 章、藤井 信吾

幹事長：矢野 哲

幹事：小原 範之、小林 浩、古山 将康、清水 幸子、高桑 好一、角田 肇、阪埜 浩司、
平川 俊夫、平田 修司、藤森 敬也、堀 大蔵、村上 節、

総会議長：清川 尚

総会副議長：足高 善彦、松岡幸一郎

資料

第 3 回常務理事会業務担当理事報告並びに関連協議事項予定内容

1：第 2 回常務理事会議事録（案）

庶務 1：会員へのお知らせ 事務局の移転について

庶務 2：17/7/3 付読売新聞記事「着床前診断 新たに 2 人出産」

庶務 3：17/6/18 付山陰中央新報記事「隠岐の島町長学会に支援要請」

庶務 4：17/6/29 付日経新聞記事「産婦人科医 26% 産科やめたい」

庶務 5：厚生労働省より「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」を実施するにつき、本会から医師 90 名の推薦依頼があったことについて

庶務 6：日本医学会『「がん治療専門医」をめぐっての提言について」

庶務 7：日本小児がん学会「小児がん全数把握登録事業ご協力をお願い」

学術 1：「朝日賞」候補者推薦について

社保 1：要望書「タキソテール注の子宮体癌に対する効能追加の承認について」

倫理 1：慶應義塾大学「着床前診断の実施報告書提出について」

倫理 2：本会が習慣流産に着床前診断の実施を認めるか検討を始めるとの新聞各社の記事及び着床前診断に関する報道記事

女性健康週間 1：平成 17 年度地方部会担当公開講座一覧

追加 1：妊娠・分娩の給付のあり方に関する要望書の再提出について

武谷理事長から平成 17 年 7 月 19 日付各役員、議長団、幹事長、幹事宛書面にて、平成 17 年度第 3 回常務理事会を 7 月 22 日から 8 月 5 日迄を期間として、通信にて行う旨の案内状と通信会議次第（報告事項、協議事項）及び関連資料が送付された。予定通り 7 月 22 日に通信会議が開始され、理事長、常務理事の総数 9 名が参加した。武谷理事長が議長となり、議事録署名人として、理事長及び庶務・会計担当常務理事の計 3 名が選任された。

I. 平成 17 年度第 2 回常務理事会議事録（案）の確認

原案通り、承認した。

II. 業務担当理事報告並びに関連協議事項

1) 庶務（落合和徳理事）

〔I. 本会関係〕

(1) 会員の動向

ねもとたかし

根本孝 功労会員（神奈川）が 5 月 17 日に逝去された。（弔電・香典辞退）

杉本修 名誉会員（京都）が7月14日に逝去された。（理事長名で弔電・生花を手配済）

(2) 事務局移転に関し、「会員へのお知らせ」として新事務局の所在地と業務開始予定日をホームページに掲載した。機関誌には8月号に掲載する予定である。[資料：庶務1]

(3) 7月3日付読売新聞「大谷医師による着床前診断を実施した習慣流産の患者2組が出産」との報道記事について [資料：庶務2]

(4) 6月18日付山陰中央新報「隠岐の島町長が産婦人科医不足解消を学会に支援要請」との報道記事について [資料：庶務3]

(5) 6月29日付日経新聞「産婦人科医26%産科やめたい」との報道について [資料：庶務4]

〔Ⅱ. 官庁関係〕

(1) 厚生労働省

①厚生労働省医療安全推進室長より「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」を実施するにつき、本会から医師90名の推薦依頼があった。東京をはじめとする9モデル地域の諸先生に各10名の推薦を依頼し、厚労省に推薦を行うとの手続きにつき各常務理事に可否を伺い、承諾を得た。現在、9モデル地域の諸先生に合計90名の推薦を依頼しており、その結果を取り纏めた上で、7月末日までに厚労省に推薦を行いたい。 [資料：庶務5]

(2) 文部科学省

特になし。

〔Ⅲ. 関連団体〕

(1) 日本産婦人科医会

①7月11日に第1回学会・医会ワーキンググループ（通算21回）を開催した。

②平成16年度第8回常務理事会での協議を踏まえ、学会・医会連名で正常妊娠・正常分娩については従来通り出産育児金の支給による現金給付の形態を堅持する旨の要望書を平成17年3月15日付で日本医師会会長に提出した。しかし、妊娠・出産費用を保険対象とすることの検討が具体的に進捗しているとのメディアの報道もあり、正常妊娠・正常分娩への保険給付に反対する趣旨をより強く打ち出した要望書を厚生労働大臣及び日本医師会長他に提出したい。[資料：追加1]

協議の結果、特に異議なくこれを承認した。

(2) 日本医学会

日本医学会より「『がん治療専門医』をめぐっての提言」を受領した（7月4日）。[資料：庶務6]

(3) 日本小児がん学会

同学会より小児がん全数把握登録事業を実施するに当たり、趣旨に賛同のうえ世話人を推薦して欲しいとの依頼があった。本会として同趣旨に賛同の上岡村州博理事を世話人として推薦した。

[資料：庶務7]

〔Ⅳ. その他〕

特になし。

以上庶務報告事項については、特に異議なくこれを了承した。

2) 会 計 (岡村州博理事)

特になし

3) 学 術 (和氣徳夫理事)

(1) 会議開催

①第1回総会会場固定化評価準備委員会を9月1日に開催する予定である。

②8月27日に専門医認定二次審査筆記試験問題評価委員会を開催する予定である。

(2) 理事長、理事、学術委員会委員に「朝日賞」候補者推薦を依頼した。期限は8月1日。

[資料：学術 1]

以上学術報告事項については、特に異議なくこれを了承した。

4) 編 集 (岡井 崇理事)

(1) 会議開催

7月8日大阪大学において JOGR 編集会議を開催した。

特に異議なくこれを了承した。

5) 渉 外 (丸尾 猛理事)

[FIGO 関係]

(1) FIGO の Administrative Director である Thomas B氏より次回の FIGO Executive Board Meeting は2005年9月18日と19日にロンドンで開催する予定であるとの書面を受領した (7月6日付)。

[AFOG 関係]

(1) AFOG の Secretary-General である Dr. Sumpaico 氏宛に、本年ソウルで開催される XIXth Asia & Oceania Congress of Obstetrics & Gynaecology の会期中での General Assembly (10月2日と4日) に出席する official delegates 5名 (武谷理事長、村田代議員、丸尾理事、岡井理事、嘉村理事)、投票権を持つ代表者2名 (武谷理事長、村田代議員)、New Council Member 2名 (武谷理事長、丸尾理事) および Executive Board Member 2名 (2006年3月末まで村田代議員、2006年4月より岡井理事) のリストを e-mail にて通知した (6月30日付)。

[ACOG 関係]

特になし

[その他]

(1) SOGC の Executive Vice-President の Lalonde AB 氏より、日産婦学会代表者のケベックでの SOGC annual meeting 参加に対する謝意とともに、日本とカナダ間での exchange program、FIGO project である postpartum hemorrhage による maternal mortality、contraception and sexuality project に関して2国間で検討したい旨の書面を受領した (7月4日付)。

以上渉外報告については、特に異議なくこれを了承した。

6) 社 保 (嘉村敏治理事)

(1) タキシテル注の子宮体癌に対する効能追加の承認について、要望書を厚生労働省医薬食品局審査管理課及び日本医師会に提出した。[資料：社保 1]

(2) 疑義解釈委員から出されていた適応外使用薬についてそれぞれの専門委員会に振り分けて適応外使用の根拠を決まったフォーマットに記載してもらうこととした。

以上社保報告事項については、特に異議なくこれを了承した。

7) 専門医制度 (宇田川康博理事)

(1) 平成 17 年度専門医認定二次審査

東京会場 (都市センター) と大阪会場 (千里ライフサイエンスセンター) で、7 月 23 日に筆記試験、24 日に面接試験を実施する。

(2) 地方委員会専門医認定一次審査通知書を送付した (6 月 27 日)。

また、一次審査合格者に対し審査通知と二次審査受験票を、再申請者に対し二次審査受験票を送付した (6 月 27 日)。

以上専門医制度報告については、特に異議なくこれを了承した。

8) 倫理委員会 (吉村泰典委員長)

(1) 本会の見解に基づく諸登録 (6 月 30 日現在)

① ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する登録：登録 89 施設

② 体外受精・胚移植、および GIFT の臨床実施に関する登録：登録 648 施設

③ ヒト胚および卵の凍結保存と移植に関する登録：登録 546 施設

④ パーコールを用いての XY 精子選別法の臨床実施に関する登録：機関誌 46 巻 8 号 (平成 6 年 8 月) において登録一時中止以来登録なし、通算 17 施設

⑤ 顕微授精の臨床実施に関する登録申請：登録 378 施設

⑥ 非配偶者間の人工授精の臨床実施に関する登録：22 施設

(2) 会議開催

① 7 月 13 日に第 1 回慶應義塾大学からの着床前診断に関する審査小委員会 (第 3 例目) を開催した。

② 7 月 13 日に第 1 回着床前診断の適応に関するワーキンググループを開催した。

③ 7 月 26 日に第 4 回登録・調査小委員会を開催する予定である。

④ 9 月 22 日に第 2 回会告見直しに関するワーキンググループを開催する予定である。

(3) 慶應義塾大学より「平成 16 年度着床前診断の実施報告書」を受領した (6 月 27 日)。

[資料：倫理 1]

(4) 着床前診断に関わる各新聞社の報道について [資料：倫理 2]

以上倫理報告事項については、特に異議なくこれを了承した。

9) 教育 (星 和彦理事)

(1) 「産婦人科研修の必修知識 2004」について

頒布状況：7 月 11 日現在 2,746 部

(2) 「用語集・用語解説集」(2006 年改訂版発行予定) 並びに「産婦人科研修の必修知識 2004」(2007 年改訂版発行予定) につき、内容の見直しに着手した。

以上教育報告事項については、特に異議なくこれを了承した。

III. 理事会内委員会報告並びに関連協議事項

1) 学会のあり方検討委員会 (吉川裕之委員長)

(1) 会議開催

9 月 9 日に第 3 回学会のあり方検討委員会を開催する予定である。

2) 広報委員会（稲葉憲之委員長）

(1) パスワード登録状況（6月末日現在）

在籍会員	15,562名		
登録済会員	7,224名	登録率	46.4%

3) AOCOG2007 組織委員会（武谷雄二委員長）

(1) 会議開催

第2回AOCOG2007組織委員会を7月12日に開催した。

4) 生殖医療評価機構検討委員会（田中俊誠委員長）

特になし。

5) 女性の健康週間委員会（石塚文平委員長）

(1) 会議開催

第1回女性の健康週間委員会を7月5日に開催した。第2回女性の健康週間委員会を8月2日に開催する予定である。

(2) 平成17年度地方部会担当公開講座について、理事会で承認を得た30地方部会に加え、神奈川地方部会を新たに追加したい。[資料：女性健康週間1]

以上理事会内委員会報告については、特に異議なくこれを了承した。

以上